



第1図



第2図



第3図

口 絵 三井銀行京都支店（新町通六角下ル）の店内風景

明治三十六年（一九〇三）まで三井銀行京都支店は新町通六角下ルの元・京両替店（三井両替店の京都店）の建物を利用して営業していた。今回口絵で紹介するのは、新町六角時代の店内の様子を残したイラストと写真である。

第1図は時期不明ながら店内の様子全体で、手前が新町通りに面した待合所、カウンターの奥が執務スペースである。待合所には長椅子が複数置かれていて、大勢の利用者が待っていたり、用事を済ませたりしている。執務スペースでは大勢の銀行職員が業務を行っており、子供の姿も数名みえる。

第2図・第3図は明治三十一年（一八九八）一月四日の店内の様子である。いずれも写真右手が新町通りに面している。写真奥に小さく時計が写っていて、第2図は一〇時一〇分、第3図は一四時三〇分を指している。新年早々終日大勢の利用者が訪れていた様子がうかがえる。店内の人物の大半がばやけて写っているなか、第2図手前で背を向けている人物のみくっきり写っている。彼は下京警察署から派遣されている巡査で、第1図でも右端にいすに座っている巡査が描かれている。これらは当時の銀行の様子を今に伝える貴重な資料といえるだろう。（下向井 紀彦）



参考図 三井銀行京都支店外観

（出所）

第1図「預金問答（三井銀行京都支店執務の模様）」

（三井文庫所蔵参考図書 D六六〇―一五十六）

第2図・第3図「明治三十一年一月四日・銀行の盛況」

（三井文庫所蔵未整理史料）

参考図「三井銀行京都支店店頭之図」

（三井文庫所蔵史料 写一八二七―一）